



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月11日

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム

上場取引所 東

コード番号 9445 URL <https://www.forvaltel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷井 剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山本 忠幸

TEL 03-3233-1301

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日

配当支払開始予定日

2020年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け) オンライン開催<Zoom使用>

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,655	3.1	512	0.7	365	25.0	261	21.3
2020年3月期第2四半期	10,334	20.5	515	54.9	486	57.0	332	26.8

(注)包括利益 2021年3月期第2四半期 261百万円 (21.4%) 2020年3月期第2四半期 332百万円 (26.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	15.67	
2020年3月期第2四半期	19.91	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	11,883	1,675	14.0
2020年3月期	11,814	1,580	13.3

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 1,663百万円 2020年3月期 1,568百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		7.00		10.00	17.00
2021年3月期		7.00			
2021年3月期(予想)				10.00	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	1.0	800	20.2	700	27.5	480		28.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	16,693,200 株	2020年3月期	16,693,200 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	5 株	2020年3月期	5 株
------------	-----	----------	-----

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	16,693,195 株	2020年3月期2Q	16,693,195 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、前年度終盤に発生した新型コロナウイルス感染症拡大により、経済活動は制限を受け、厳しい状況が続いております。また、段階的に経済活動は再開されておりますが、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、移動系超高速ブロードバンド接続サービスの契約数が急拡大し、ビジネスにおける効果的な活用や急増したデータ量への対応・セキュリティ対策が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、法人向けFMC (Fixed Mobile Convergence) サービス、個人向けインターネットサービス等「IP & Mobileソリューション」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人及びコンシューマ向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である㈱FISソリューションズにおいては、光回線サービス「iSmartひかり」、法人を対象とした光ファイバー対応IP電話「スマートひかり」・「AmaVo」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「どこでもホン」、並びに個人を対象としたISPサービス「iSmart接続-Fひかり」を中心に、合わせて情報通信機器等を提供しております。

また、当社では登録小売電気事業者として法人顧客に電力サービス「Elenova」を提供しており、新たに「ユーティリティ・ビジネス」と位置付けております。

当社連結子会社である㈱トライ・エックス及びタクトシステム㈱においては、法人顧客からのニーズが強い「ドキュメントソリューション・ビジネス」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社及び当社連結子会社である㈱保険ステーションにおいては、主に法人顧客に対し「コンサルティング」を提供しております。

なお、新型コロナウイルスの感染症拡大による事業への影響は、緊急事態宣言の発令による経済活動の制限等により、「IP & Mobileソリューション・ビジネス」において情報通信機器の入荷の減少、「ドキュメントソリューション・ビジネス」において各種セミナーやイベントの中止による印刷物の減少、「コンサルティング・ビジネス」においてはショッピングモール併設の保険店舗閉鎖等が発生いたしました。再び緊急事態宣言の発令等による経済活動の制限が生じた場合に、当社グループの業績に影響を与えるおそれがあります。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が106億55百万円（前年同四半期比3.1%増）、営業利益が5億12百万円（前年同四半期比0.7%減）、経常利益が3億65百万円（前年同四半期比25.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が2億61百万円（前年同四半期比21.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント名称及び区分に組替えた数値で比較しております。詳細につきましては、「2 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

#### 《IP & Mobileソリューション・ビジネス》

「IP & Mobileソリューション・ビジネス」におきましては、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しております。インターネット接続サービスの大口卸販売先の破産手続き開始決定に伴い契約数が減少したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は66億52百万円（前年同四半期比15.5%減）、セグメント利益は2億68百万円（前年同四半期比32.2%減）となりました。

#### 《ユーティリティ・ビジネス》

「ユーティリティ・ビジネス」は、電力を提供しております。新規獲得件数が順調に伸びたこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は17億円（前年同四半期比388.9%増）、セグメント利益は1億4百万円（前年同四半期はセグメント損失26百万円）となりました。

#### 《ドキュメントソリューション・ビジネス》

「ドキュメントソリューション・ビジネス」は、普通印刷、印刷物のプランニング・デザイン等を行っております。新型コロナウイルス感染症の影響で、各種セミナー・イベント印刷物作成の中止等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は6億66百万円（前年同四半期比15.5%減）、セグメント損失は12百万円（前年同四半期はセグメント利益22百万円）となりました。

#### 《コンサルティング・ビジネス》

「コンサルティング・ビジネス」は、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を行っております。大口の保険契約の獲得及びシステム開発受託等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は16億36百万円（前年同四半期比23.1%増）、セグメント利益は1億50百万円（前年同四半期比22.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は118億83百万円となり、前連結会計年度末比69百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加（4億17百万円）、受取手形及び売掛金の減少（1億8百万円）、原材料及び貯蔵品の増加（1億20百万円）、未収入金の減少（93百万円）及び長期前払費用の減少（1億92百万円）によるものであります。

負債の残高は102億8百万円となり、前連結会計年度末比25百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少（1億49百万円）、短期借入金の増加（3億72百万円）、未払金の減少（1億68百万円）及び未払法人税等の減少（1億18百万円）によるものであります。

非支配株主持分の残高は11百万円となりました。また、純資産の残高は16億75百万円となり、前連結会計年度末比94百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億17百万円増加し、14億47百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果獲得した資金は、3億56百万円（前年同四半期は6億66百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3億65百万円、法人税等の支払額2億30百万円、違約金の受取額2億41百万円によるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は、1億14百万円（前年同四半期は1億7百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出19百万円及び無形固定資産の取得による支出94百万円によるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果獲得した資金は、1億75百万円（前年同四半期は1億75百万円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の純増額3億72百万円、長期借入金の返済による支出30百万円及び配当金の支払額1億66百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、期初に想定した範囲内で順調に推移しており、2020年8月12日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,030,538	1,447,799
受取手形及び売掛金	3,443,122	3,334,363
商品及び製品	98,888	79,279
仕掛品	34,123	49,751
原材料及び貯蔵品	100,886	221,187
未収入金	2,203,382	2,109,798
前払費用	1,132,635	1,119,339
その他	59,547	55,271
貸倒引当金	△149,889	△192,430
流動資産合計	7,953,236	8,224,360
固定資産		
有形固定資産	115,671	107,402
無形固定資産		
のれん	445,232	414,771
その他	396,295	407,346
無形固定資産合計	841,528	822,117
投資その他の資産		
長期前払費用	1,448,311	1,256,044
破産更生債権等	2,768,520	2,869,857
その他	1,276,691	1,295,376
貸倒引当金	△2,589,026	△2,691,223
投資その他の資産合計	2,904,496	2,730,054
固定資産合計	3,861,695	3,659,575
資産合計	11,814,931	11,883,936
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,395,915	2,246,909
短期借入金	3,956,000	4,328,000
未払金	2,602,193	2,433,723
未払法人税等	277,728	159,341
賞与引当金	176,868	145,156
役員賞与引当金	8,000	37,299
その他	496,047	566,586
流動負債合計	9,912,753	9,917,017
固定負債		
長期借入金	90,000	60,000
退職給付に係る負債	228,769	231,558
その他	2,700	—
固定負債合計	321,469	291,558
負債合計	10,234,222	10,208,575

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	984,076	1,078,732
自己株式	△1	△1
株主資本合計	1,568,782	1,663,438
非支配株主持分	11,926	11,922
純資産合計	1,580,708	1,675,360
負債純資産合計	11,814,931	11,883,936

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	10,334,291	10,655,513
売上原価	7,022,217	7,659,929
売上総利益	3,312,074	2,995,583
販売費及び一般管理費	2,796,362	2,483,465
営業利益	515,711	512,118
営業外収益		
受取利息	501	5
違約金収入	5,826	19,472
その他	1,243	2,289
営業外収益合計	7,571	21,767
営業外費用		
支払利息	15,077	15,388
貸倒引当金繰入額	21,246	152,338
その他	1	1,038
営業外費用合計	36,324	168,765
経常利益	486,958	365,120
特別利益		
固定資産売却益	27	—
特別利益合計	27	—
特別損失		
固定資産除却損	625	44
投資有価証券評価損	1,134	—
特別損失合計	1,759	44
税金等調整前四半期純利益	485,227	365,076
法人税、住民税及び事業税	168,797	122,412
法人税等調整額	△16,221	△18,920
法人税等合計	152,575	103,492
四半期純利益	332,651	261,583
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	286	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	332,365	261,587



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	332,651	261,583
四半期包括利益	332,651	261,583
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	332,365	261,587
非支配株主に係る四半期包括利益	286	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	485,227	365,076
減価償却費	82,105	92,107
のれん償却額	30,423	30,461
貸倒引当金の増減額(△は減少)	29,389	144,737
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,166	△31,712
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,400	29,299
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	275	88
受取利息及び受取配当金	△516	△21
支払利息	15,077	15,388
固定資産除却損	625	44
有形固定資産売却損益(△は益)	△27	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,134	—
違約金収入	△5,826	△19,472
売上債権の増減額(△は増加)	△290,290	7,421
たな卸資産の増減額(△は増加)	18,007	△116,319
未収入金の増減額(△は増加)	△119,157	28,358
前払費用の増減額(△は増加)	△612,486	△143,051
その他の流動資産の増減額(△は増加)	15,849	△6,391
長期前払費用の増減額(△は増加)	△435,605	192,266
仕入債務の増減額(△は減少)	89,764	△149,005
未払金の増減額(△は減少)	△6,307	△150,767
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△30,365	67,450
その他	△682	5,077
小計	△742,621	361,035
利息及び配当金の受取額	516	21
利息の支払額	△15,821	△15,423
法人税等の支払額	△182,825	△230,073
違約金の受取額	274,012	241,045
営業活動によるキャッシュ・フロー	△666,739	356,605

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,730	△19,403
無形固定資産の取得による支出	△65,419	△94,400
有形固定資産の売却による収入	27	—
貸付けによる支出	△10,817	—
貸付金の回収による収入	899	301
敷金の差入による支出	△310	△2,186
敷金の回収による収入	154	1,244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,194	△114,444
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	372,000	372,000
長期借入金の返済による支出	△30,000	△30,000
配当金の支払額	△166,774	△166,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	175,225	175,099
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△598,707	417,260
現金及び現金同等物の期首残高	1,484,948	1,030,538
現金及び現金同等物の四半期末残高	886,241	1,447,799

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や終息時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	IP & Mobile ソリューション・ ビジネス	ユーティリティ・ ビジネス	ドキュメント ソリューション・ ビジネス	コンサルティング・ ビジネス	
売上高					
外部顧客への売上高	7,868,293	347,820	788,624	1,329,553	10,334,291
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,638	—	23,469	2,467	38,575
計	7,880,932	347,820	812,093	1,332,021	10,372,867
セグメント利益 又は損失(△)	396,590	△26,823	22,291	123,326	515,384

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	515,384
セグメント間取引消去	326
四半期連結損益計算書の営業利益	515,711

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	IP & Mobile ソリューション・ ビジネス	ユーティリティ・ ビジネス	ドキュメント ソリューション・ ビジネス	コンサルティング・ ビジネス	
売上高					
外部顧客への売上高	6,652,352	1,700,450	666,589	1,636,121	10,655,513
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,227	—	40,938	1,411	50,578
計	6,660,579	1,700,450	707,528	1,637,533	10,706,091
セグメント利益 又は損失(△)	268,881	104,557	△12,268	150,862	512,032

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	512,032
セグメント間取引消去	86
四半期連結損益計算書の営業利益	512,118

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「IP & Mobileソリューション・ビジネス」「ドキュメントソリューション・ビジネス」「コンサルティング・ビジネス」の3つの報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「IP & Mobileソリューション・ビジネス」「ユーティリティ・ビジネス」「ドキュメントソリューション・ビジネス」「コンサルティング・ビジネス」の4つの報告セグメントに変更いたしました。

従来、「IP & Mobileソリューション・ビジネス」に集計しておりました電力供給事業は、経済的特徴の相違・量的重要性の観点から、報告セグメントを「ユーティリティ・ビジネス」にすることが望ましいと考え、名称及び区分を変更いたしました。

また、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の名称及び区分方法により作成したものを記載しております。